

私立大学図書館協会西地区部会東海地区協議会
2007年度第1回常任幹事会議事要録

日時：2007年4月26日（木）14時～16時30分

場所：愛知淑徳大学

出席：名城大学（飼沼 敏雄、小川 明秀）、南山大学（栗山 義久）、
名古屋外国語大学・名古屋学芸大学（守田 正江、八鳥 麻子）、
名古屋女子大学（尾崎 友子）、金城学院大学（鈴木 卓美）、
中京女子大学（黒柳 民夫、三浦 慶嗣）、中部大学（蓑島 智子）、
中京大学（中河原 省三）、愛知大学（長坂 功）、
愛知淑徳大学（秦 忠夫、木下 恵美子、山森 洋之、山田 稔） 敬称略

議事に先立ち、理事校愛知淑徳大学図書館長（秦）の挨拶の後、会則に基づく本年度常任幹事校及び本日の出席校の確認（p.2）並びに出席者の自己紹介が行われた。なお、議事進行は理事校愛知淑徳大学図書館長（秦）が担当し、下記の議題を協議した。

<1> 2007（平成19）年度東海地区協議会総会について

理事校愛知淑徳大学（秦）より資料（p.3）に基づき総会議事進行について説明がなされた。当日の議事進行を効率的に進めるべく、報告事項は理事校が一括報告し、詳細または補足事項等についてのみ各担当校が報告説明する旨提案があり、各校これを了承した。また、今年度は午後の議事後、愛知淑徳大学文学部図書館情報学科教授 山崎 茂明氏による1時間の講演を予定していることが説明され、各校これを了承した。

[報告事項]

1. 2006（平成18）年度東海地区協議会事業報告
前年度理事校名城大学（飼沼）より資料（p.4～7）に基づき報告が行われた。
2. 2006（平成18）年度東海地区協議会研究会事業報告
前年度研究会幹事校中部大学（蓑島）より資料（p.8～10）に基づき報告が行われた。
3. 2006（平成18）年度東海地区協議会図書館サービス・システム委員会事業報告
図書館サービス・システム委員会前委員長金城学院大学（鈴木）より資料（p.11～15）に基づき報告が行われた。
4. 2006（平成18）年度東海地区協議会図書館管理・運営実務責任者会議報告
前年度理事校名城大学（飼沼）より資料（p.16）に基づき報告が行われた。
5. 2006（平成18）年度協会関連事項報告
 - 1) 部会・協会関係および関連団体
理事校愛知淑徳大学（木下）より資料（p.17～20）に基づき報告が行われた。
 - 2) 協会賞審査委員会・研究助成委員会
協会賞審査委員会・研究助成委員会委員校南山大学（栗山）より、資料（p.21）に基づ

き2006年度審査結果について報告が行われた。

3) 国際図書館協力委員会

国際図書館協力委員会委員校南山大学(栗山)より資料(p.22~23)に基づき報告が行われた。

4) 協会ホームページ委員会

協会ホームページ委員会委員校南山大学(栗山)より資料(p.24~25)に基づき協会ホームページリニューアル及び契約ディスク容量増量の報告が行われた。

5) 私立大学図書館協会2007年度西地区部会総会について

理事校愛知淑徳大学(木下)より資料(p.26~27)に基づく報告が行われた。また、館長懇話会については、前年度理事校より本地区の図書館長の積極的な参加の呼びかけが提案された。

[協議事項]

1. 2006(平成18)年度東海地区協議会決算(案)および監査報告

前年度理事校名城大学(飼沼)より資料(p.28)に基づき、決算案について説明が行われた。岐阜医療科学大学の新規加盟による加盟会費及び地区研究会交付金の差異並びに「館灯」の広告掲載の減収及び発行部数の変更による差異について説明がなされた。併せて資料(p.29~34)に基づき研究会、図書館サービス・システム委員会、図書館管理・運営実務責任者会議の決算案について担当校より説明が行われた後、監事校南山大学(栗山)より決算案について本日4月26日に会計監査を行い、適正であると認められたとの報告があり、決算案は承認された。

2. 2007(平成19)年度役員校および委員校(案)

理事校愛知淑徳大学(木下)より資料(p.35)に基づき報告が行われ承認された。

3. 2007(平成19)年度東海地区協議会事業計画(案)

理事校愛知淑徳大学(木下)より資料(p.36)に基づき、今年度の事業活動の報告があり、承認された。

4. 2007(平成19)年度東海地区協議会予算(案)

理事校愛知淑徳大学(木下)より資料(p.37~39)に基づき、予算案について説明が行われた。まず、収入の部における加盟会費及び地区研究会交付金について、2006年度における岐阜医療科学大学の加盟並びに2007年度においては会費算出根拠となる各加盟校の学生数について豊橋創造大学が増加したことによる予算額の増額が説明された。また、館灯広告掲載費については、2006年度の掲載業者減少による決算額を反映した予算額とした。一方、支出の部においては、図書館サービス・システム委員会支援費について、研修会の隔年実施に伴い2007年度に係る同予算を減額することが説明された。また、図書館管理・運営実務責任者会議支援費は、講演料について世間相場等を勘案し従前より増額することに伴い、前々年度と同額の12万円を配分したい旨提案がなされ、了承された。その他、各研究会及び委員会等に係る予算額については、各担当校より説明が後段

のとおりなされ、それぞれの承認とともに2007（平成19）年度東海地区協議会予算（案）の承認がなされた。

5. 2007（平成19）年度東海地区協議会研究会事業計画ならびに予算（案）について
研究会幹事校中京女子大学（黒柳）より資料（p.40～42）に基づき、「デジタルリソースの導入と活用」をテーマにした活動について説明があり承認された。なお、予算案については意見交換会参加費を2006年度実績に基づき計上することとした。

6. 2007（平成19）年度東海地区協議会図書館サービス・システム委員会事業計画ならびに予算（案）について
2007年度図書館サービス・システム委員会委員長校名古屋女子大学（尾崎）より資料（p.43～45）に基づき、今年度の事業計画について説明があり承認された。

7. 2007（平成19）年度東海地区協議会図書館管理・運営実務責任者会議事業計画ならびに予算（案）について
理事校愛知淑徳大学（木下）より（p.46）に基づき、今年度の事業計画について説明があり承認された。今年度も昨年度同様1回開催にすること、各校の図書館長に多数参加してもらうよう内容を充実させるために、専従図書館長経験者による講演を計画していることが説明された。また、その際の講演料を50,000円程度としたい旨、併せ提案がなされた。なお、予算案について参加費収入の算出内訳を併記することとした。

8. 2007（平成19）年度以降の東海地区協議会役員校および私立大学図書館協会理事校・当番校について
理事校愛知淑徳大学（木下）より資料（p.47～50）に基づき報告があった。その中で、理事校のローテーションの運用原則について学生数を対象校の基準としていることに関して、昨今の社会情勢に伴う学生数変動を考慮し将来見直しを検討することが必要かもしれない等の意見が上がった。

9. その他
南山大学（栗山）より、愛知県議会図書館、御園座、トヨタ中央研究所等の専門施設内図書館が加盟する専門図書館協議会から大学図書館とも連携をとりたいとの呼びかけがあったことが報告された。このことに関連して、東海地区協議会の情報については協会HPを紹介するとともに、研究会等への参加は、それぞれの委員会の判断に委ねることとなった。

以 上